



## <心不全とは>

人が生活をしていくために、全身に十分な酸素と栄養が行き届かなければなりません。血液はその酸素と栄養を運ぶのが仕事です。その血液を送り出すポンプ役が心臓です。

ポンプ機能が低下すると、心臓が全身に送り出す血液量が少なくなり、必要な血液循環量を確保できなくなるために症状が出ます。この症状、病態のことを「心不全」といいます。

## <原因>

- ・心筋梗塞
- ・弁膜症
- ・高血圧
- ・不整脈
- ・慢性腎臓病
- ・糖尿病
- ・睡眠時無呼吸症候群

気管支炎、肺炎などの感染症、塩分・水分の過剰摂取、過度の運動、貧血などがきっかけとなって悪化します。



## <症状>

- ① 肺などの臓器に水がはまり、息切れや呼吸困難を起こします。

階段や坂道で起こり、動悸を感じる場合があります。

- ② 心臓が大きくなります。

- ③ 食欲低下や腹部膨満感が起こります。

- ④ 体全体に水分が溜まって体重が増えます。

初期症状として夜間の多尿があります。

重症になると尿量は減少します。

- ⑤ すねや足の甲あたりがむくみます。

むくみは夕方になると強くなり、くつがきつくなることで気が付きます。

- ⑥ 全身症状として倦怠感、疲れやすさが出ます。



## <診断方法>

- ① 全身の観察

症状・身体所見・経過などです。

- ② 心電図

狭心症や心筋梗塞の所見の有無や、不整脈がないかなどが判定できます。

- ③ 心臓超音波検査

心臓の断面図を見る検査です。心臓の全体像が分かります。心臓の動きを診断する他に、サイズや形態などの判定もできます。

- ④ 胸部レントゲン写真

心臓と肺を撮影します。これにより、心臓が大きくなっているか、肺のうっ血の有無、あるいは息切れの原因となりそうな肺の病気にかかっているかどうか判断できます。

- ⑤ 血液検査

貧血があるか、肝臓や腎臓の障害があるかを判定し、全身状態を調べます。また BNP というホルモンを測り、重症度の参考にします。

## <治療方法>

- ① 安静

心臓を休ませるために安静が必要です。酸素が十分でない場合が多いので酸素吸入を行うこともあります。

- ② 薬物療法

内服や点滴、注射などです。全身にたまった血液を尿として出すための利尿剤や、弱った心臓の働きを助けるための強心剤、心臓の負担を軽減したり、循環を改善する血管拡張剤です。心臓を保護する効果のある血圧降下剤も使用されます。

循環器専門医師もみえます。

異常を感じたら早めに受診して下さい。

